

令和7年度 第1回 政策決定会議 会議録

◆開催日時：令和7年5月30日（金） 14：05～14：33

◆開催場所：市長公室

◆出席委員：佐野市長、藤浪副市長、岸副市長、大下教育長、西川総合政策部長

◆説明者：田中企画課長、貝口参事、新原担当員

◆審議事項

令和8年度国家及び大阪府予算に対する要望について・・・・・・・・・・企画課⇒承認

◆審議概要

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて、本件原案のとおり承認された旨、報告。

◎報告後、質疑応答

〈藤浪副市長〉例年の、要望当日の様子について説明をお願いしたい。

〈貝口参事〉会派によっては、府議会議員の方に加え、大阪府の理事者の方が出席される。

〈総合政策部長〉府議会議員の方に司会進行していただき、市の理事者が説明したことに対して府の理事者の方が回答していただくという形と、府の理事者の方が入らずに府議会議員の方と意見交換する形の2パターンが想定される。

〈貝口参事〉市議会議員の方は会派ごとに、傍聴する形で同席する。

〈藤浪副市長〉例年継続している要望について、当日説明する際にはポイントを絞って簡潔明瞭に、散漫とならないように注意してもらえたらと思う。

〈岸副市長〉説明の際には決められている様式の書類に加え、要望を受ける側が理解しやすい資料も使うような工夫もしてほしい。

〈総合政策部長〉写真等が入った資料も活用しながら、わかりやすく説明できればと考えている。

〈教育長〉要望が変わらないものについても、昨年から取組が進んでいるものについては内容に反映する必要がある。例えば、項目1－①の今回要望事項では、昨年度要望と変わらず「商工労働部を始めとする府庁全体の取組として主体的に進められたい」と書かれているところ、昨年度回答には商工労働部も加えた検討体制を構築されていることや、環境影響評価にも着手したことが記載されている。それを踏まえ、今回要望事項を「府において全庁体制を構築し、環境影響評価に着手されたことは大きな前進であり、大阪の中核を担う拠点の形成や産業団地の造成企業立地等、新産業拠点として早期に整備されたい」という内容にしてはどうか。一度検討してほしい。

同じような観点から、項目4－①についても、昨年度回答にあるサウンディング型市場調査の実施についても確認し、内容に反映させてはどうかと思う。

〈貝口参事〉確認して対応する。

〈市長〉副市長、教育長の意見も踏まえ、要望書類は改善してほしいと思う。

〈総合政策部長〉なお、要望項目については関係部長と協議のうえ、当日の説明との兼ね合いから優先

順位の高い順としている。

〈市 長〉協議の上でこの順にしたということであれば問題ない。

〈総合政策部長〉本案件について、指摘のあった内容について確認及び修正のうえ、承認してよろしいか。

【異議なし】

⇒本件、内容を一部修正のうえ、承認する。

令和5年5月 16 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	令和8年度国家及び大阪府予算に対する要望について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和8年度の予算編成に向け、国家及び大阪府に対し、本市独自の重要課題について要望活動を行うにあたり、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第3条第9号(国、大阪府等に対する要望、意見等に関する事項)に基づき付議するものです。
説明者	田中企画課長
	貝口参事
	新原担当員
付議事項の概要	様式別紙に記載

別紙

付議会議	令和7年度 第1回会議
付議事項	令和8年度国家及び大阪府予算に対する要望について

★取組の目的

対象	国及び大阪府
どのような状態を目指す	国及び大阪府の予算に対する本市の要望を的確に各大阪府議会議員団に伝え、要望内容が可能な限り実現されることで、本市の施策・事業の推進と市民生活の向上をめざす。

★総合計画上の位置付け

6020202	基本目標	みんなでつくる持続可能なまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)」シートを参照)	個別目標	持続可能で信頼される行政になっている
	個別目標の方向性	② 適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める
	行政の役割	広域的視点をもって、時代に応じた施策を積極的に推進する

★現状と課題

＜現状＞

国及び大阪府の厳しい財政状況により、国及び大阪府から本市への補助金の減少が懸念されるほか、本市における大阪府の各種整備事業が進んでいない状況にある。

＜課題＞

国及び大阪府からの補助金の減少は、本市事業の推進の遅延原因となり、大阪府の本市における各種整備事業の遅延は、市民の住環境等に大きく影響を及ぼすため、継続して国及び大阪府に要望する必要がある。なお、要望事項については、本市独自の課題に精査している。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費		計			R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
		0			0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性				R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
有		無						

★取組の効果を表す指標

指標名						目標値				
						R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。